

幼児の、時間と空間をどのように理解するかということは、幼児教育にとって重要な課題である。

おとなはすぐに時計や暦の時間を考え、時間は過去から現在、未来へと一樣に進むものと思いやすい。また思いのままに、時間を区切ったり区分したりできると考えやす。しかし、人間にとつて時間はそんなに単純なものではない。子どもは夢中になって遊んでいる時には、食事の時間にも気づかない。何かに没頭している時の時間と、いやいや、何かをしている時の時間とは、たとえ時計の上の時間間隔は同じでも、質的に違う時間である。子どもが自分でわかり、発達していくのには、子どものペースで進行する時間を必要とするであろう。

ところが、最近では幼児の生活も一段と忙しくなってきた。幼稚園から帰ってから、外国語教室、体育教室、学習塾などに時間をとられて、遊びの時間が失われつつある。幼稚園の中でも忙がしく、次々に行事があり、一日の中でもカリキュラムを遂行するのに追われる。幼

児にとつて「自然な」時間がこわされていくのではないだろうか。幼児の精神が発達する「時」が与えられていないのではないだろうか。

空間についても同様である。住いについても、土や自然物から遠く離れた高層建築の住居で育ち、幼稚園に来て、走り回ることができず、すわりこんで自分の遊びに没頭する空間をもつことができない。幼児の成長にとって必要な空間はどのようなものであるかをもちと研究せねばならない。幼児の生活にとって、土、太陽、草木や大気のような自然の環境が大切であるが、時間と空間は最も基本的な環境である。

今月号では、神山先生に、物理学の立場から、時間と空間について書いていただいた。おとなの常識的な概念と、最近の学問の考え方は違うことが多いので、これからいろいろの専門の立場から時空の問題について問題提起をしていた。幼児教育ではどのように考えたらよいかを明らかにしてゆきたい。(津守)

## 幼児の教育 第七十卷 第七号

七月号 © 定価一〇〇円

昭和四十六年六月二十五日印刷  
昭和四十六年七月一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 貞  
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所のフレイベル館にお願いたします